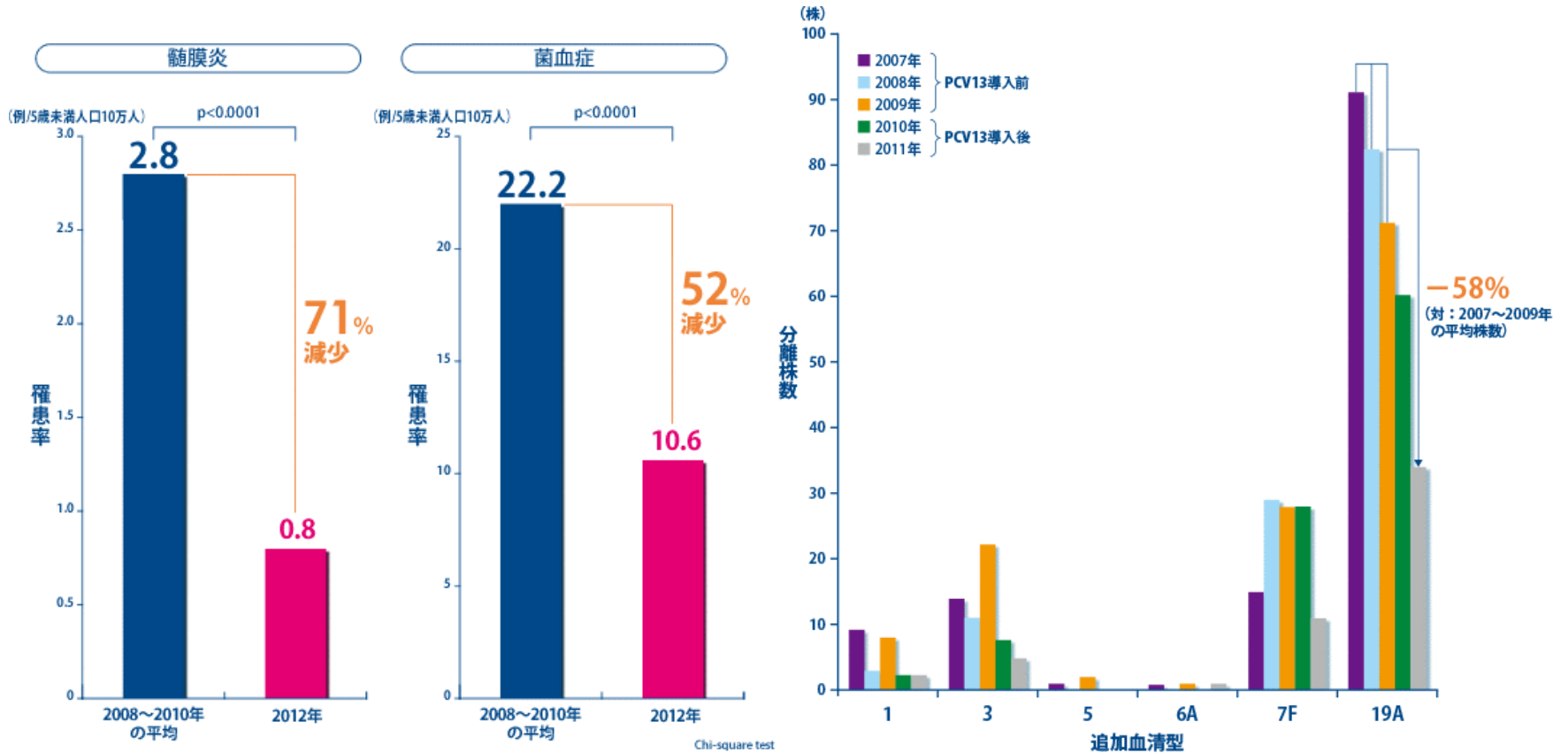


# 肺炎球菌ワクチン プレベナー13 (PCV13)

- 細菌性髄膜炎や、菌血症など、乳幼児の重症肺炎球菌感染症を予防するワクチンです。  
肺炎球菌による細菌性髄膜炎は、死亡が7~10%、後遺症率は30~40%と、ヒブによる髄膜炎に比べ死亡・後遺症の危険性は約2倍となる。
- 日本では、2010年2月からプレベナー7 (PCV7) が接種開始。肺炎球菌感染症は大きく減少した。
- さらに2013年11月より、改良型肺炎球菌ワクチン：プレベナー13が開始。13種類の肺炎球菌に予防効果がある。プレベナー13は近年急増している19A血清型の肺炎球菌にも効果が認められている。



- 副反応
  - ・ 37.5℃以上の発熱 (約3人に1人)、局所の発赤 or 腫れ(約7割、すぐに治まる)、など
- ワクチン・スケジュール

接種開始月齢 (ヶ月)	スケジュール	
	初回接種	追加接種
2 ~ 6	4週以上の間隔で3回接種 <b>1回目 2回目 3回目</b>	12~15ヶ月齢 (前回から60日以上) <b>4回目</b>
7 ~ 11	4週以上の間隔で2回接種 <b>1回目 2回目(生後13か月までに)</b>	1歳を過ぎ、かつ2回目接種から60日以上あけて <b>3回目</b>
12 ~ 23 (2歳未満)	<b>1回目</b>	前回から60日以上あけて <b>2回目</b>
24ヶ月~5歳未満	<b>1回目接種のみで終了</b>	

(作成：13年12月 吉祥院こども診療所)